

スマートフォンでの閲覧に最適な縦型画面のCG集!

ミスティが挑む最終試練は絶対的母性の獲得だった!  
乳首開発/乳腺責め/疑似ポルチオ/母乳噴射アクメ

# 異世界聖女

～エルフ王女ミスティ 乳首開発射乳編～

プルメリア王国の次期王女である  
ミスティは戴冠式前の最終試験に  
臨む為、国の司祭と共に聖なる大樹の  
元へとやって来た。

落ち着いて下さい姫様。  
これも試験の一環でございます。  
あなたは今から聖なる大樹に犯される。  
四肢を拘束しないと快楽に狂って  
自分自身を傷つけかねない……。

司祭様……これは一体どういうつもり？  
この私を大樹のツタに括りつけて！  
これは王族に対する立派な反逆罪よ！

な、なんですって？  
犯されるだなんて……、  
そんなの聞いてないわ！



かつて大樹の精霊はエルフの少女と契約を交わしました。  
エルフは森を守り、森はエルフを生かすと――  
王女は大樹と契りを結ぶことで真の魔力を得る。  
この試練は古から続く王国のしきたりなのです。

申し遅れました。  
私がこの大樹に宿る  
《大精霊》でございます。

なんておぞましい……!!  
司祭様、あなた正気で言ってるの?  
大樹の精霊なんて実在するかすら怪しいのに!

な……なんですって?  
あなたが大精霊?

うう……!!



実際に体験なされた方が早いでしょう。  
姫様ご自身を、ご覧ください。  
私の本体である大樹から触手を伸ばし、  
あなたの乳房に接続します。

大樹の視界を姫様に共有しているのです。  
あなたの乳房に大樹の精力を注ぎ込み、  
女性の象徴であるその子宮で契約の  
印を結ぶのです。

いたっ……ひっ、きゃあああっ！  
気持ち悪いっ、触手の針が胸を刺しているわ！  
それにこれは一体何……？  
私のお腹の中が透けちゃってるうっ！

痛みはけして与えませんが。  
与えるのは精神生命、源の力。  
絶対的母性獲得に伴う快樂のみ。

ホワッ...

まっかっ  
あっ

ちゅっ

ちゅっ

あうっ！ 何かお股に入ってくる……！！  
これもあなたの触手……？  
ああっ、そんな、ねじ込まないで！  
私まだ処女なもの、絶対奥まで入らないわ！

はぁっ

はっ…

触手のサイズは姫様の中指程度……。  
無理にねじ込むわけではございません。  
姫様は女王であり聖女でもあります。  
あなたの清らかな処女性の価値は、  
大精霊である私が一番に理解しています。

おやっ…

くちっ

くちっ





そう言いつつ息が上がっていますね。  
今から痩せ我慢していた所でなんの特にもなりません。  
感じるままに悶えた方が精神的に楽ですよ？

ほろ

ほろ

うっ、うるさい！  
痩せ我慢なんてしてないわ！  
私のことは気にしないでいいから……、  
さっさと試練とやらを続けなさい！



まあそう焦らずに。  
今はまだ目が高く、森は光合成に勤しむ時間。  
大樹は夜中の儀式までに新鮮な精気を  
姫様の乳房にたっぷり注ぎ込みます。  
腹の触手は姫様の膣内をゆっくりほぐし、  
処女膜を融かして膜輪を拡張するでしょう。

ふ……ふうん……  
オイルを使ったエステみたいなのね。  
オイルマッサージを過去に何度か受けたけど、  
あいにくおっぱいは触られても何も感じないの！  
眠ってしまわないように頑張らなくちゃ。



ふんふん

ちゅっ

ははっ、エステですか……。  
そのように思ってたくて結構。

ですがこれだけは心に留めておいてください。  
あなたの少女時代は本日の太陽と共に沈み往くのです。

私と共に見守りましょう。  
時の移るいと共に変化する女体を――

そして共に目撃しましょう。

絶対的母性を内に孕んだ  
全女誕生の瞬間を――

目が傾ぐにつれて胎肉が熱く燻るはずです。

姫様の体は時の経過とともに発情していく。  
1秒、1分、1時間と着実に――

さあ姫様……大変お待たせいたしました。  
いよいよ目が沈みます。

はあ

ぬいっ

あ……

あうら……

しゅっ

しゅっしゅっ

はあっ、はあっ、司祭様あ……もう限界ですっ！  
胸が張って重いわ……！  
お腹の中でククユクユ音が鳴るたびに、  
腰がガクガク震えてしまうの。  
震える度に乳房が揺れて苦しくて、  
このままじゃ胸が破裂しちゃうそう！

ああ……随分とたわに実りましたね。  
恐れなくも大丈夫ですよ。  
姫様の胸は破裂などいたしません。  
あなただけの乳房全体に行き渡り、  
乳腺から乳房全体に行き渡り、  
精力と共に全身に浸透しているのですから。



不安なら自分でご覧なさい。  
あなたの大きな乳房の中には  
コリコリに発達した果実があるのみ。  
乳房が揺れて苦しく感じるのは、  
その実が伝わってひとつに  
振動が伝わっているからでしょう。

いやあああーっ!  
嘘よ、これが私の乳房だと言うの?  
こんな……揺れただけで感じるような胸が!  
嫌よ、返してえっ!  
私の普通だった胸を返してよおおーっ!

ぎゃああーっ!

あぁっ

はん

あぁっ

ふん

ふん

ゆっ

ゆっ

ちゅん  
ちゅん  
ちゅん  
ちゅん

ぽん

ぽん



そう……アクメは何にも代え難い甘美な感覚です。  
中イキの感覚が掴めた所で次の行程に移りましょう。  
姫様と私とで契約の印を結ばせてもらいます。

はあ、はふ……契約の……印……。  
その太い緑の棒は……？

これは大樹の雄しべです。  
今は水風船のように柔らかいですが、  
女性器に挿入し、姫様の愛液と  
混ざることによって硬質化します。  
姫様が雄しべを挿入したまま  
何度かアクメすることによって、  
食いつめられた雄しべは  
印としての形を成すのです。

そんな……！！  
いくらなんでも太すぎる！  
そんな棒を膣内に入れて  
アクメなんて絶対に――

ふるん

ちゅぽん♡



無

っ、ウツ……

……くふっ、

おっ、おおオ……っ!

||  
/

||  
/

||  
/ チュン♡

お……おおっ、嘘……胸が……!!  
乳首が中まで押し込まれて……っんおっ、おっ、おお!

もちろん簡単に中イキ出来るとは思っていないません。  
現にあなたのGスポットは雄しべの侵入を拒んでいます。

ですから子宮と快感を共有する巨大乳房を  
徹底的に開発して差し上げましょう……。

ほおっ、おおっ、んっ、くううっ♡  
乳首に圧をかけないでっ、この刺激はやばいイッ!  
グリグリされると胸全体に重い快感が襲ってくる!  
こ、これじゃあまるで……おっ、オマンコッ……くふうっ♡

仰る通りでございます。  
乳首を襲う刺激は子宮口を亀頭で舐られる快感そのもの……。  
あなたの乳房は発情しきった雌マンコになり果てました。  
勃起乳首に押しつぶされる乳腺の刺激がたまらないでしょう。



んおおっ——♡♡♡

♡ ほおおー、おおおっ!

♡ アツアツアツ、アツ、アツ!

♡ 駄目、ダメっ、ピストンしちやダメエ!

あっ

はあ

はっ

あん

突かれるたび気持ちよくてナカが締まる!  
触手と一緒に乳首が降りる、叩きつけられる!  
しこしこコリコリ乳首とナカの実が延々擦れて、  
あふっ、おっ、ほおおっ、はっ、はんっ、あんっ!  
うううっ、気持ち、いいっ!

はっ

はっ

ちゅぽ

ちゅぽ

ああ……なんて下品ではしたない喘ぎだ。  
いくら疑似まんこポルチオ責めが良いから  
と言つて勝手にイクのは感心しません。  
女王としての自覚をきちんと持ち、  
イクならイクとアクメを申告しなさい。

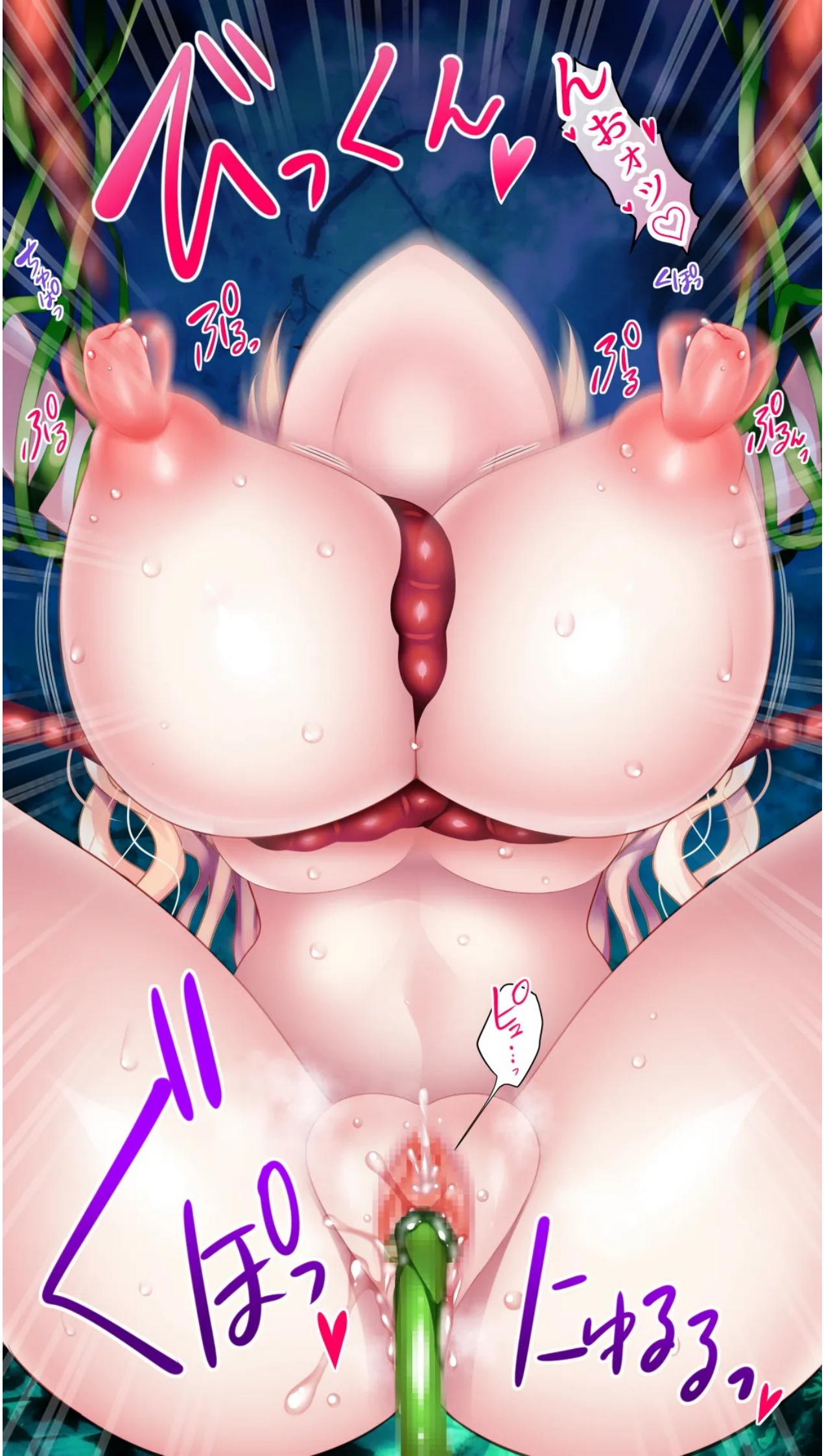
はひいご—  
ごめんなさいい……!!  
これからさきちゃんと  
申告しますうう!!

ちゃんと言葉に出来ますか?  
自分の身体の何処を責められ、  
どのように感じてアクメするの—  
できりぬ、出来ますううっ!  
アクメ申告聞いてくださいいっ!

イクっ、イクツ、イク、イクイクイクうううっ!  
連続ピストン圧迫刺激で乳首ポルチオイクツ!  
両方の乳房が同時に中イキアクメするううっ!  
イクイクイクイクイクイク、イクウーツ!

ゴッ

ゴッ



バクン♡  
んお♡  
んお♡  
んお♡  
んお♡

んお♡

んお♡

んお♡

んお♡

んお♡

んお♡

んお♡

んお♡

——かはっ！  
……はあ、はあ、はっ……。

ハァー！……

素晴らしい。  
実際に深いアクメでしたね。  
姫様の乳首が性器としての  
自覚を持ち、とても立派に  
勃ち上がりましたよ。

ハァー！……

ふっ……

ふっ……

おお……契約印の方も根本まで  
しっかりと飲み込んでいる……。  
先ほどから潮吹きが止まりませんが、  
やはり圧迫感がありますかね？

ふう、ふー……少し、苦しい……。  
おまんこの中が奥までパンパン……。

ちゅろろろ……

ふっ……

ですが安心してください。  
契約印の触手はとも柔らかい。  
何度か乳首アクメを繰り返せば  
すぐに胎内に馴染むことでしょう。

はあ、はあ、待って……！！  
乳首アクメを繰り返す……？  
今そんなことされたら  
私本当におかしくなる！



はっ

んっ

あっ

ちより

ちより

ちより

ちより

ぶっ

ぶっ

ぶっ

ぶっ

ぶっ

ぶっ

まあまあそう言わずに。歴代王女も皆経験してきたことです。エルフ王女の巨大乳房は絶対的母性の証—あなたはこの豊満な乳房と勃起乳首を武器に—各国の男たちと外交を重ねていくのです。

身体を武器に外交を……？  
権力者たちの慰み物になれってこと？

その通りでございます。さあ……引き続き開発を進めましょう。姫様はどんな責めがお好みか——乳首の勃起を更に促してみましようか。屹立した肉の側面を優しく愛でるように、下から上へ擦りあげて差し上げましょう。

ふにゅ、くううらんっ！  
先っぽに血が集まってくりゆうっ！

ぐっ

ぐっ

ぐっ

あん♡

あっ  
あっあ!

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

カッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

アツ、アツ、アツ、アツ、快感が鋭い!  
先っぽをカリカリふるふる弾いたらダメッ!  
私の乳首、すっごく敏感になってるからあ!  
おっ、おっ、んおっ、くほおっ、おっふ♡  
ああっ………凄いやマンコの食い締めだ。  
姫様は乳頭への連続刺激がお好きなようです。  
先の生涯は数刻おきのオナニーが必須となりますので、  
今の状況をよく見て記憶と快感を紐づけしておくように。

くちゅ

まじゅらん

勃起して張りつめた先端に指先を軽く押し当てて、  
軸心に響くよう、幾度も軽快にコリコリと爪弾く……。  
強い絶頂が襲つても、けして指を止めてはいけませんよ。  
深く長いアクメと共に言い知れぬ多幸感が胸を満たすはず。  
甘い快楽は乳首から脳へ、脳から全身へと駆け巡り、  
あなたの子宮に重く重く響くでしょう……。

ああっ、イク……っ、イク、イクイクイクッ♡  
へああ、イクてるから触手止めてええっ!  
イグッ、んっ、イツ、イキ死ぬうっ!



おや、ついに母乳が滲みましたね。  
おめでとうございます、姫様……。  
姫様の絶対的母性完成まであと少しですよ。

うそ……母乳……？  
私まだ赤ちゃんを孕んですらいらないのに！  
一体どうして乳首から母乳が……！！

母乳は王女の母性と愛の象徴です。  
姫様の母乳は大樹の精力を多分に含んでいます。  
領地の民全員を愛し、必要とならば乳を与える——  
エルフはそうして繁栄を繰り返してきたのです。

しかし……やはり初乳は濃いようですね。  
乳腺の中で凝固して詰まっているのでしょうか、  
扱いてもなかなか母乳をお吹きにならない。

くぁぁ♡

理まっ♡  
うっ♡

ズヌヌ

フホホ

フホホ

はぁ……胸が張って苦しい……っ!  
こんな……クリームみたいにドロドロの母乳、  
とてもじゃないけど搾り出す勇氣なんてない!

大丈夫、母乳の扱いもじきに慣れます。  
油分と共に凝固している精力を熱で  
融かしてあげればいいのです。

や……やだ……!!  
また乳首をナカに埋めるの……?

あなたの乳首は既に卑猥な性器ですよ?  
日常で猥物を露出していいわけがないでしょう。  
歴代女王は皆ニップルサックを装着し、  
乳首を乳房内に深く埋没させることで、  
常日頃から母乳を人肌に温めていました。

キヤウウ

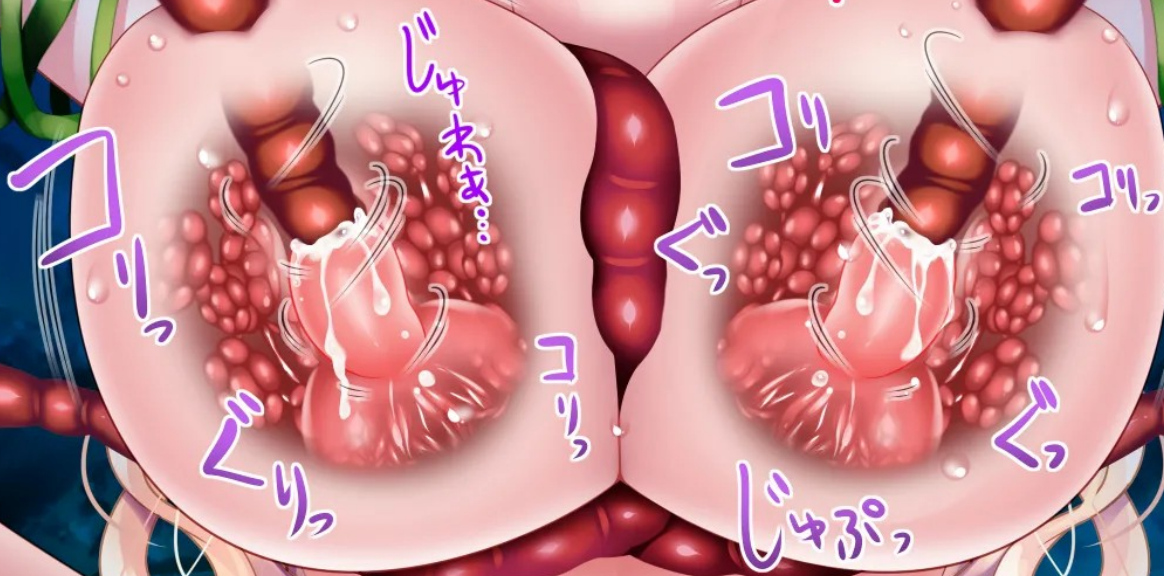




お、おっ、おっ、お、おん♡  
上からの圧迫、キクうっっ！  
イク……イク、イク……！！  
乳首押し潰されてイク……♡  
軸をクニクニ捏ね回されるだけで、  
マンコごと情けなくアクメする！  
あう、こんな淫乱乳房が恥ずかしい！

んおっ♡  
んおほー♡  
おっ♡  
あん♡

気にすることはございません。  
エルフの母乳は栄養価が  
とても高いと言われています。  
大樹の精力を濃密に含んだ  
王女の母乳は特に成分が濃厚で、  
粘度が高く詰まりやすいのです。



ほら……そうこう話している内に  
バターのような芳醇な香りがしてきましたよ。  
姫様の初乳が熱で融けてきた証です。  
まもなく乳首を解放して射乳を促しますが、  
初乳には疲労回復の効果がありますので、  
躊躇わず口に含むことをおススメします。  
自分のミルクを飲むってこと……？  
そんなの下品で汚いわ……！！

じゃあま♡♡♡

汚いなど滅相もない……。  
近衛騎士たちが飲むポーションの原料は  
王女の乳を発酵させた母乳酒です。  
会食で提供されるホットミルクセーキは  
新鮮な母乳に砂糖を加え温めたもの……。  
人によっては乳首を直接啜えさせ、  
搾りたてを提供することもございます。



あんっ、ツ、ん、ふうっ！

おっ、おっ、おっ、オオオツ♡  
ん、ああッああーッ！

はぐウうん、たっ、堪らなあり♡  
乳首シヨシヨシコシコシオオ……ほオツ—  
射乳っ、射乳イキ、射乳アクメ気持ちいいっ！  
濃ゆいミルクをドピュドピュ吹くたび  
オマンコ締まってイグツ♡

シヨ

シヨ

びくん

びく

くっ……今までにない食い締めの方だ……！  
乳首と子宮の繋がりがここまで強い王女は  
過去にも見たことがありません……！  
このままでは触手が根本から折れてしまう！  
姫様、一度印を引き抜きますよ！

やああん、まだ触手抜かないでえっ！  
こんなにマンコが締まった状態で抜いたら  
マンコ擦れて裏返っちゃうからああーんっ！  
お願いだからあ、イツてる間は抜かないでええっ！

ぞやうらうらっ

シヤッ  
シ

いいえ抜きます！  
アクメの波が引くのを待っていたら、  
明朝まで待たねばなりませんからね。  
最高のアクメと共に一息で  
引っこ抜いてやりましょう！  
さあ、おイキください王女様！

んおっ、キ……キチク……♡  
言われなくてもイクわよっ！  
イケばいいんでしょお、お、おおおオー♡



はぎめっ♡ オマンコ熱いッ!

そんな容赦なく触手抜いたらイク♡  
ミルク吹くっ、潮吹くっ、イクメするっ♡  
ああん、オマンコがポツカリで物足りなくて切ないよお……♡  
マンコが潮吹いて泣いてるよおお!  
こんなに切なくなるのは母乳を他人に搾られてるせい……?♡

乳首絞められてイクメするたび、心に慈愛が満ちてイク……♡  
快楽を与えてくださる男の存在そのものが愛しい!  
これが王女の絶対的母性……♡  
司祭様、ミステイは理解しました!  
イクメすることこそが王女の幸せ♡  
この快楽こそが愛……♡

んああんっ、イクッ——  
イクッ、イグウウッ♡  
特大搾乳イクメキメてイククウウッ♡♡♡  
ああ、イクイクイクイク……♡  
オオアッ、アッ、アふッ、ふあっ、イグウッ♡

イクホ♡



ふう……素晴らしい契約印が  
 出来上がりましたよ……。  
 流石エルフ王家の血筋だ……。  
 入口に張り巡らされた沢山のイボ。  
 力強い食いつまみによつて出来たヒダ。  
 男の亀頭を包んで抱く子宮口……。  
 印の形を見ただけで姫様のマンコが  
 大変素晴らしい名器だと分かる。

やだ……なんてイヤラシイ……！  
 あれが私のオマンコの形だと言うの？  
 所々に汚いカスがついて……  
 白い愛液がまとわりついて……！  
 ホカホカに湯気を立てて、  
 きつとまだ暖かいのね……。  
 強烈な香りがここからでも漂ってくる。

もあぁ……

ホカ♡

ホカ♡

んやん

んやん

んやん

んやん

んやん

んやん

んやん

んやん

んやん

んやん

ビュルルッ

ゴムッ

しゃん

はっ

はあ

はっ

はっ

しゃん

しゃん

しゃん

おめでどうございます。  
姫様はこれにて試練を全て終えました。  
私は今からひとりで城へ駆け戻り、  
契約印を城のエントランスの  
目立つ場所に展示したいと思います。  
戴冠式には他国から大勢の権力者が  
いらっしやいますからね……。

知らない人にオマンコの形を見られるの……？

おや……興奮してしまいましたか？  
ポツカリ開いた姫様のオマンコから  
新鮮な本気汁が溢れてきた……。

待って……待ってよ……。  
ひとりで戻るって言ったわよね？  
もう試練は終わったのでしよう！  
早く私の身体を解放して……！！

残念ですが姫様の乳房内にはまだ  
大量の母乳が残されています……。  
それら全てを搾り出さないと  
快感の波は引きません……。

ビュッ  
ビュッ

トロッ

眠るもよし……緩やかな快楽に身を委ねるもよし……。  
今から夜明けまでは姫様のご自由に——  
甘く気怠い快楽と共に夜明けを待つのも一興ですよ。  
大樹との囁かなピロートークをお楽しみください。

そんな……何が緩やかな快楽よ……！  
こんなにも鋭い刺激を乳首に与えられたまま、  
眠れるわけないじゃない……！

はあ……はあ……イクっ——  
ほら……またイッてしまったわ……。  
私の乳首、すっかりイキ癖ついちゃった♡  
せめて今は何時なのか……、  
あと何時間耐えればいいのか、  
それだけでも教えてよお！

ねえ、聞いてるの？  
司祭様……司祭様あつ！  
私をひとりにしなないでえ！





製作・OneDlica  
イラスト&シナリオ・Maromi  
公式Twitter/@onedelica















































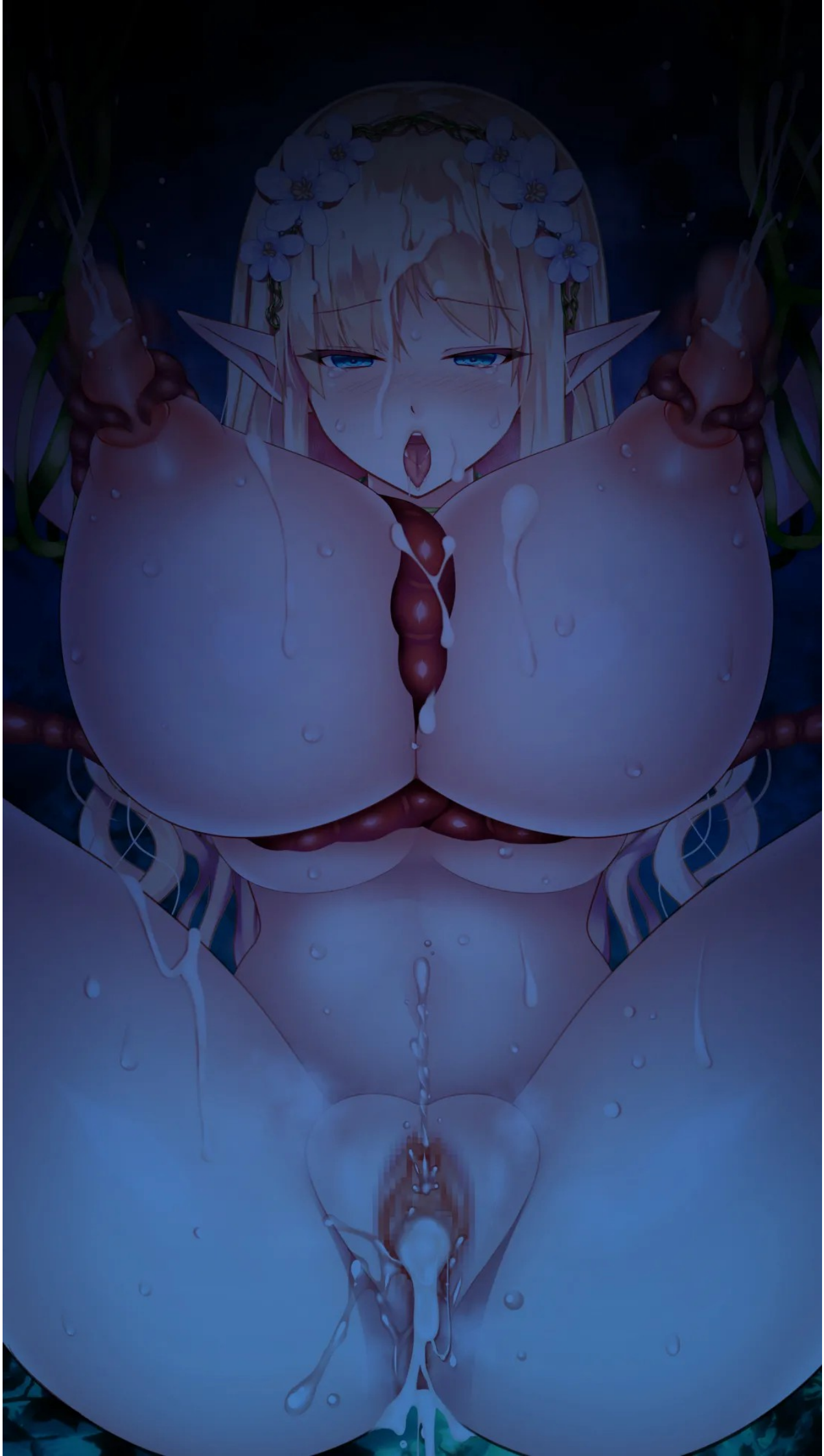












製作・OneDlica  
イラスト・Maromi  
公式Twitter/@onedelica

・旦那様用簡単レシピ・

## エルフ王女ミスティの ホットミルクケーキ

1人分(1人約200ml)

搾りたての母乳150ml  
(なければ牛乳で代用)

新鮮な卵黄Mサイズ1個  
バター10g  
グラニュー糖10g  
バニラエッセンス2～3滴

鍋に卵黄とグラニュー糖、バターを入れ、  
泡だて器か菜箸でしっかりと混ぜる。

王女の乳首から直接鍋に母乳を加え、  
混ぜながら中火にかける。  
(王女が不在の場合は牛乳を入れて  
混ぜながら中火にかける)

湯気が出るまで混ぜながら温める。  
この時、湯気から芳醇な母乳の香りを  
楽しめますが、温めすぎに注意すること。

火から外して耐熱グラスに注ぎ、  
バニラエッセンスで香りを付けたら完成。

※注意※

保存が効かないので熱い内に飲みましょう。  
滋養に満ち溢れ、身体が芯から暖まります。

※ワンポイント※

王女を見つめたまま音を立てて啜ってやると、  
顔を真っ赤にして悦ぶかもしれません。